



寄生虫(中国)を排除出来ないアメリカ

アメリカのボディ(国体)は国際基軸通貨ドル(O 型血液)で支えられているが、腸内に栄養(ドル)を吸収し、繁殖し続ける寄生虫(人民元)がいる。

アメリカはリーマンショックで体調を壊してから体力衰弱の日々が続いている。

過去 20 年間でアメリカの体内を循環する血液(ドル)の量が 80%から 58%に下がっている。

さらにここ数年体内の寄生虫(人民元)の数が増え、栄養が奪われ続け血液が機能低下でアメリカは栄養失調に陥りかけている。

人民元は捕食寄生虫と言って宿主(アメリカ)が死ぬまで食い尽くす性質がある。生命の危険を感じたアメリカは対中デカプリング(強制離脱)、デリスキング(戦略的離脱)などと大露わである。

アメリカが寄生虫をデカプリングすると、寄生虫によって押さえられてきたアレルギー症や花粉症が再発して苦しむだけでなく生命の危険にもなりかねない。

だからバイデンはトランプのデカプリングからデリスキングに政策転換した。

アメリカは体内の寄生虫を完全排除しないことに決めたので、直ぐではないが、いずれ栄養失調に陥る運命にある。

アメリカの体力衰退と共にアメリカが世界の基軸通貨(ドル)をアメリカファーストのもとに自由にしてきた時代が終わろうとしている。

日銀は FRB(連邦準備理事会)の日本支社、日本の安全が確保されているのは日本が日米安保により米軍の占領下にあるから。

日本は第二次大戦の無条件降伏以来今日まで名実ともにアメリカの属国である！

「日本はこれから良くなる」(船井幸雄・渡辺昇一・増田俊男共著)なんてことがあるのだろうか？！

これから本当に日本が良くなることは小冊子 Vol. 134 を熟読すれば手に取るようにわかる！

過去20年で大きく低下した世界の外貨準備の米ドル比率

